



犀陵だより

第6号 平成26年9月19日

朝晩、冷え込む季節になりました。

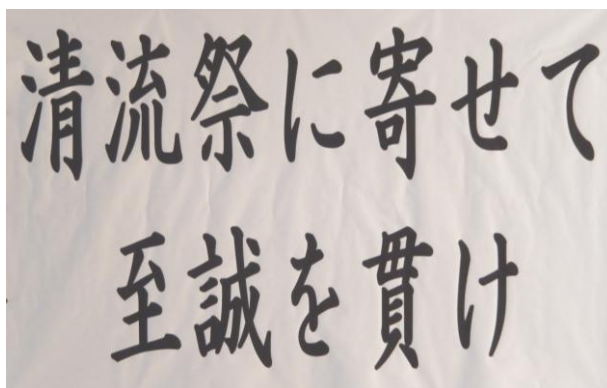
いよいよ来週26日(金)、27日(土)、「第24回清流祭」を行います。生徒会の役員を中心に休日返上で準備をしてくれています。その姿を、1、2年生が見て来年度、また次の年へと続き、学校の伝統が創られていきますね。保護者の皆様にも是非お越しいただき、生徒たちの活躍の姿をご覧いただきたいと思っております。

【校長講話より(要約)】

清流祭に寄せて

今日は、「清流祭」のことについて、私の感じていること・考えていることを聞いてください。

今年度の生徒会のテーマ「至誠を貫け」を聞いたとき、人の生き方を明確に表した言葉に強く衝撃を受けました。そして、その生徒会テーマをそのまま清流祭のテーマにしていることに、生徒会役員の皆さんの強い信念を感じています。「至誠」とは、「誠



(まこと)に至る」、「誠(まこと)を尽くす」という意味と考えます。「誠(まこと)」とは「うそ偽りのない心」と辞書にあります。つまり、「至誠」とは「うそ偽りのない心を尽くす」という意味です。役員の皆さんを始め、全校の皆さんはどう理解しているでしょうか。「至誠」という言葉は孟子という人が、「至誠、天に通ず。至誠にして動かざるもの未だこれあらざるなり」と言ったと伝えられています。日本では、二宮尊徳、吉田松陰、西郷隆盛などが引用しています。この「至誠」という言葉を、生徒会テーマ・清流祭テーマにしていることを、私は誇りに感じています。

もう一つ驚いたことは、合唱コンクールではなく音楽会であるということです。人は、順位や賞を目標とすることで、力を発揮し成長もしていきます。しかし、我が犀陵中学校は合唱コンクールではなく音楽会です。順位や賞を競い合うことなく力を発揮し合う発表会です。私は、音楽会の方が、数段レベルが高いと考えます。競って力を出すのではなく、競わずとも力を出し切る生徒たちであると信じています。このレベルの高さこそが、まさに「至誠」です。

清流祭を通して学ぶことができることは、学級の団結、他を思いやる心、協力して一つのことに向かう心、みんなで創り上げる創造力、燃焼しきった充実感・余韻などです。学級展示や作品にも、運動会にも、それ以外にも心を込めてほしいと願います。皆さん一人ひとりが心に残る清流祭にするために、自分のすべきことを自覚して取り組んでください。

清流祭2日目の音楽会の中で、地域の方との「信濃の国」の大合唱を行います。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

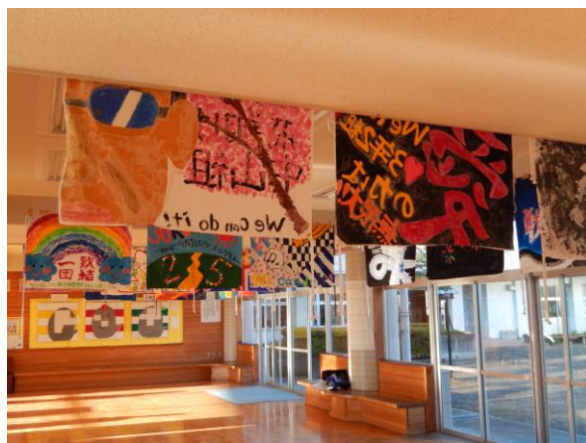
【清流祭へ向けて】



15分間、黙々と清掃を行っている生徒たち、その姿に感動です。



生徒が中心に全校練習を行っています。あと1週間で更なる飛躍を期待したいですね。



各クラスで一生懸命作成した学級旗が一同に飾られています。落ちずにきれいに飾られています。

<お願い>

清流祭後、日・月と連休となります。その週の10月2日（木）、3日（金）は1、2年中間テスト、3年総合テスト②を行います。勉強へ意識が向くようご家庭でもご支援お願いします。生徒だけで外出する場合は、交通安全、不審者からの安全確保等、十分注意するよう声かけをお願いします。

【10月の予定】

- ・ 2日（木）、3日（金）
1、2年中間テスト、3年総合テスト②
- ・ 21日（火）教育課程研究協議会
（生徒休業日）
- ・ 28日（火）3年総合テスト③
- ・ 7日（火）薬物乱用教室
新入生学校見学会
- ・ 23日（木）歯科検診
- ・ 30日（木）歯科検診

